

## IYBSSD2022 の国内テーマの設定について（案）

令和 3 年 11 月 22 日

## 【大テーマ：IYBSSD2022 を貫く基本的コンセプト】

1a 「『持続可能な発展をめざす基礎科学の国際年』 IYBSSD って何？」

1b 「『持続可能な発展をめざす国際科学年』 IYBSSD って何？」

(補足：考え方)

- ・そもそもこの取り組みは誰がどういう意図で提案したか
- ・なぜ今科学の連帯あるいは連携が必要なのか
- ・具体的な目標（これは IYBSSD という名称を利用しながら私たち独自に設定するほうがよいと思っています）
- ・日本の学术界はどのようにこれを生かすべきなのか、あるいは具体的に生かすのか

2a 「持続可能な発展をめざす基礎科学の連帯 IYBSSD2022 を迎える日本の姿勢」

2b 「持続可能な発展をめざす科学の連帯 IYBSSD2022 を迎える日本の姿勢」

3 「持続可能な世界を支える基礎科学の連帯 —IYBSSD と日本—」

4a 「IYBSSD2022 で語り合う持続可能な発展をめざす基礎科学とは」

4b IYBSSD2022 で語り合う持続可能な発展をめざす基礎科学を支える社会

## 【小テーマ：IYBSSD2022 の中で取り上げるべき重要な視点】

## 1 「科学をつたえる」

- 1) 日本での、経済格差、国や言語、科学の好奇心の形の裾野を広げるいろいろな形、可能性を学術会議としてポジティブに示したいと思いました。学術会議としてふさわしいか議論はあるかもしれませんが、たとえば Youtube、漫画、アニメ、テレビなど、あるいは草の根の啓蒙活動など。わたしは小学生の子供がおりますが、そのあたりの影響力はかなり大きいですし、Youtube などは潜在的には科学の裾野を広げるために大きな潜在力を秘めているように思います。
- 2) 学術会議のメンバーで youtuber はあまりいないと思うのですが、JAAS (<https://jaas.group/>) にはいろいろな立場で科学に関わっておられる方々がいます。JAAS との連携でフォーラムやシンポジウムを開催するのはどうでしょうか。わたしは、一応 JAAS 委員になっております。梶田先生もアドバイザーになっておられます。学術会議と JAAS との協力体制を構築するよい機会ではないかと思いました。

## 2 「ジェンダーギャップと科学」

- 1) 本家の方では女性の科学への参画が強調されていたように思います。日本は、国全体としても、科学に関する場面でも、ジェンダーギャップが大きいことはもっと認識されても良いように思います。学問分野を横断した男女共同参画学協会連絡会に協力いただけるのであれば、女性の科学への参加というようなものをテーマとしたイベントもよいように思いました。

## 3 「持続可能な発展に寄与する科学的人材育成（教育）」

## 4 「持続可能な発展とダイバーシティ推進（ジェンダー）」

## 5 「持続可能な発展に寄与する基礎科学（サイエンス）」

## 6 「持続可能な発展に寄与するイノベーション（テクノロジー、経済、企業）」

## 7 「持続可能な発展のための科学的国際連携（パートナーシップ）」

## 8 「Beyond SDGs—基礎科学が目指すもの（将来展望）」

## 9 「持続可能な発展をめざす基礎科学の社会的、文化的基盤構築 IYBSSD2022」

## 10 「持続可能な発展をめざす基礎科学の歴史的、制度的基盤構築 IYBSSD2022」